

関東地域アライグマ防除モデル事業調査について

【目 的】

本事業は、平成17年度より実施し、広域的に分布する特定外来生物を的確に防除するためのモデル事業として、県域をまたがって広域に分布して生態系や農業に被害を及ぼすおそれがあるアライグマを対象に、神奈川県を中心にその隣接県を含めて効果的な防除手法の検討や地域間の連携方策の検討等を行うものであり、これにより防除実施計画の策定を進めるとともに、その成果をマニュアルとしてとりまとめ、各地方公共団体の適切な防除に資することを目的とする。

【実施期間】

平成17年度から19年度までの3ヶ年

【実施内容】

1. 分布及び被害状況の把握

神奈川県、東京都及び山梨県におけるアライグマの分布を明らかにするために、文献、目撃情報、繁殖情報、農業被害及び有害駆除等の情報の収集整理を行う。

2. 広域的な防除計画の検討

(1) 調査地域の設定

地域の状況に応じたアライグマの効果的な防除手法を検討するために、これまでの研究者等による捕獲実績や有害鳥獣駆除の報告等を元に、以下の事項についてとりまとめ、試験的な防除を実施する。

①防除手法等に係る情報収集

- ・アライグマの生息状況
- ・ワナの設置方法（ワナの形状・設置密度・設置場所・餌・設置時間等）
- ・ワナ以外の防除方法
- ・農業等被害状況
- ・アライグマの生息確認地域周辺の環境及び土地利用等の現況

②防除手法に係る実地検証

アライグマの生息状況及び農業被害状況を踏まえ、低密度であるが分布が拡大している地域及び高密度に分布し生態系に被害を与えている地域を選定し、足跡トラップや自動撮影によりアライグマの生息状況をモニターしつつ、箱ワナ設置により捕獲を行い、効果的な防除手法に係る実地検証を行う。なお、検証を行うにあたっては、各地で行われている個体数推定方法を整理し、対象地域内の個体数推定ができるような捕獲方法をとるものとする。

③捕獲個体の処分方法の検討

防除個体の処分に係る各地域の課題整理と連携方策の検討を行った上で、上記②において捕獲された個体について麻酔薬を用いた適正な処分方法を検討し、処分を行う。

(2) 広域的な防除計画の策定

上記の検討をもとに、自治体が連携して計画的な防除を行うために必要な事項を整理し、一定範囲からの排除と分布拡大防止を含んだ広域的な防除のための計画を策定する。

3. 検討会の設置

上記2. の検討及び実施に当たっては、学識経験者、自然保護団体、動物愛護団体、関係都県から成る検討会を設置し、2回開催する（場所、神奈川県）。また、検討会での検討に必要な知見を得るため、必要に応じてワーキンググループを開催するものとする。

関東地域アライグマ防除モデル事業調査検討委員会

<検討委員>

安藤元一（東京農業大学）
石井信夫（東京女子大学）
池田 透（北海道大学）
金田正人（生物多様性ジャパン）
羽山伸一（日本獣医生命科学大学）
山口千津子（日本動物福祉協会）

<関係機関>

農林水産省関東農政局生産経営流通部農産課
神奈川県 環境農政部緑政課
相模原市環境保全部みどり対策課
葉山町福祉環境部環境課
逗子市環境部緑政課
東京都 環境局自然環境部計画課
産業労働局農林水産部食料安全室
町田市 環境・産業部農業振興課

<事務局>

環境省自然環境局野生生物課
環境省関東地方環境事務所
株式会社野生動物保護管理事務所